

コロラド州：小麦作柄と気象状況

2003年7月22日

2003年7月20日現在：

7月20日に終わる1週間も、乾燥・高温が引き続き、州平均農作業日数は6.7日（前週：6.8日）であった。土壌水分は更に減少し、春小麦に水分不足のストレスが出だした。

7月20日現在冬小麦の収穫は急速に進み、州の85%の冬小麦が収穫されたが、昨年並びに5年平均より遅れている。

高温・乾燥の為作柄評価は前週より多少落ちた。これ迄収穫された東南部地区の冬小麦の品質は、容積重及び1000粒重が昨年より高く、蛋白質は昨年より低い傾向。一部民間のサーベーター結果では、蛋白質は平均値で凡そ1.2%（水分12%ベース）程低く12.30%（昨年：13.54%）と発表された。容積重の平均値は60.46 lb/bu（昨年：59.08 lb/bu）、1000粒重の平均値は30.36 g（昨年：27.3 g）と言う数値が発表されている。州東北部の小麦の品質も南東部と同様、容積重、1000粒重は昨年より高く、蛋白質は低い傾向にある。

7月1日付けUSDAの冬小麦生産量予想では、別表の通り単位収量は35.0 bushel/acreと6月1日予想より2.0 bushels/acre増加した。

土壌水分：2003年7月20日現在

	Very Short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	31	48	21	0
Subsoil (%)	24	50	26	0

冬小麦生育状況：2003年7月20日現在

	This week	Last week	Last year	5-yr Ave.
Harvested (%)	85	57	97	88

Source：コロラド州農業統計局 (Colorado Agricultural Statistics Service)

コロラド州冬小麦作付面積の推移：2003年3月31日付けUSDA発表

	2001 Crop 1000 acres	2002 Crop 1000 acres	2003 Crop 1000 acres	2003/2002 Percent
作付面積	2,350	2,350	2,600	111

2003年7月1日付け農務省冬小麦の生産量予想：

Colorado	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				June 1	July 1		
	1,650	2,200	22.0	33.0	35.0	36,300	77,000

当該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃：Email ogawa.max@omicnet.com